

## 10 協働・協創

---

(1) 「協創」の認知

(2) 協働・協創の実践

(3) 区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価

---



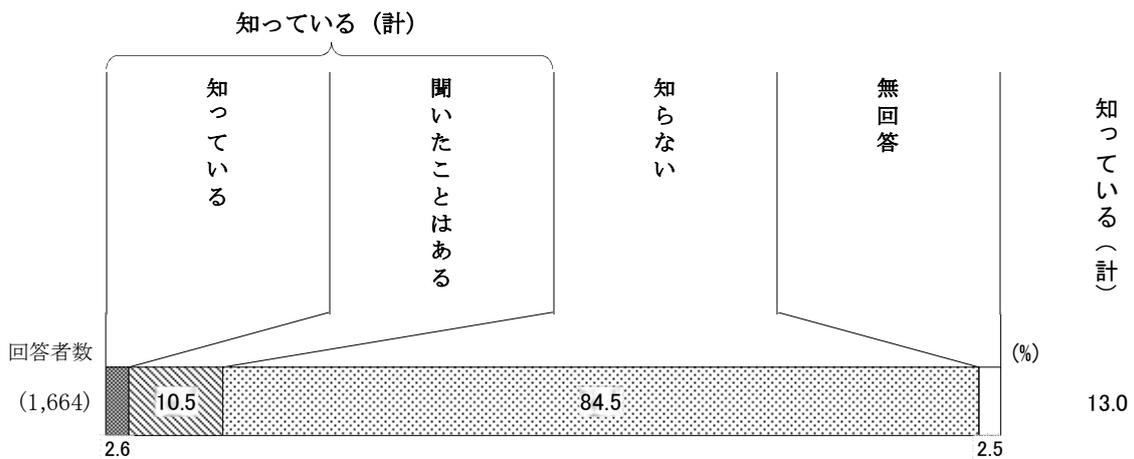
## 10. 協働・協創

### (1) 「協創」の認知

■ 【知っている】は1割台にとどまる

問40 「協創」とは、平成28年10月策定の足立区基本構想により打ち出した「区民・団体・企業・NPO・大学など多様な主体がつながり支えあい、自ら行動する」新たな仕組みです。あなたは、この「協創」を知っていますか（○は1つだけ）。

図10-1-1 「協創」の認知



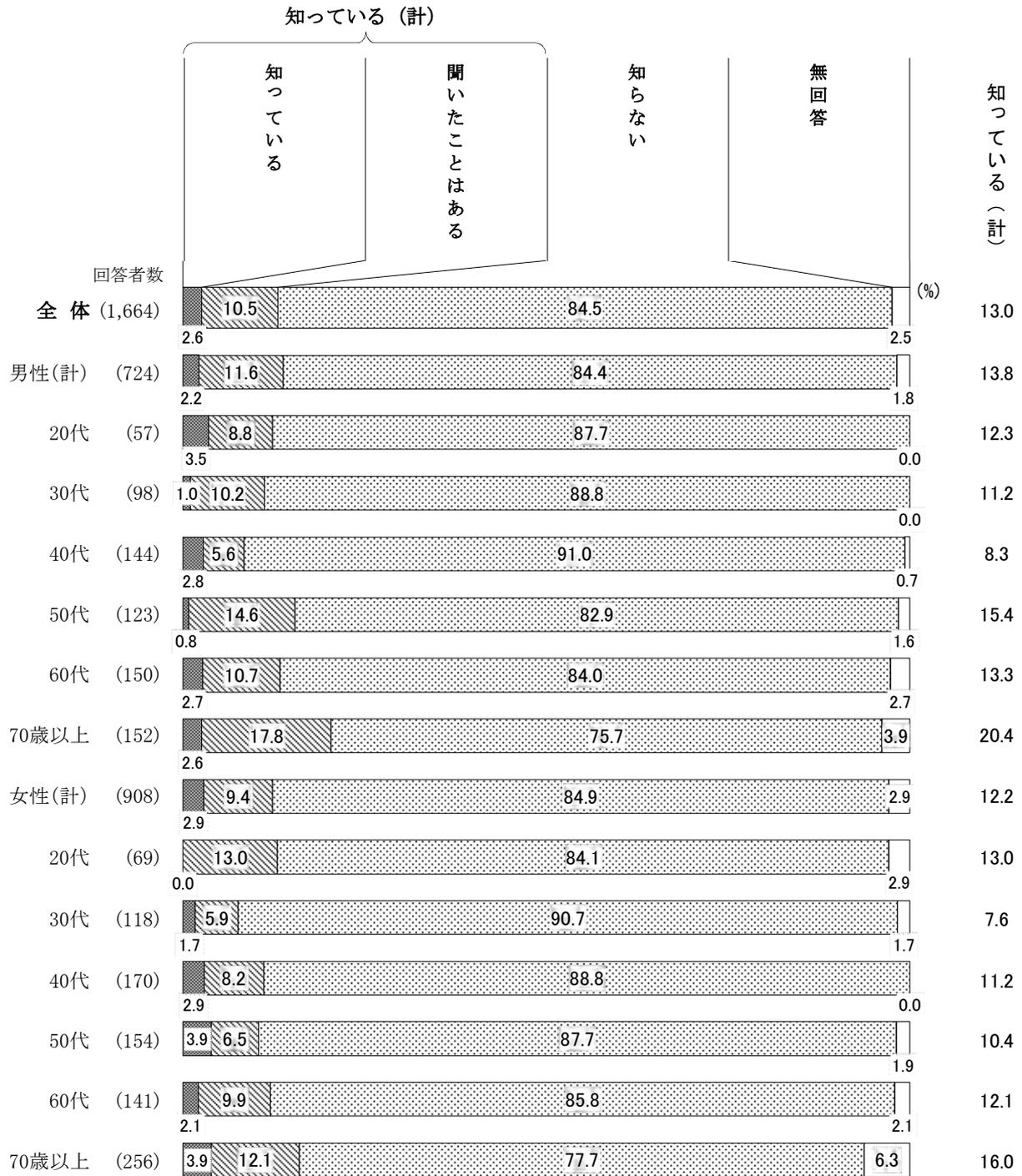
「協創」について「知っている」が2.6%で、これに「聞いたことはある」(10.5%)を合わせた【知っている】は13.0%となっている。一方、「知らない」は84.5%を占めている。

第3章 調査結果の分析 〈 協働・協創 〉

性別でみると、【知っている】は、男性13.8%、女性12.2%となっている。

性・年代別でみると、男性では、70歳以上で【知っている】が20.4%と、他の年代より高くなっている。女性では、各年代にわたって【知っている】は低くなっている。

図10-1-2 性別、性・年代別／「協創」の認知

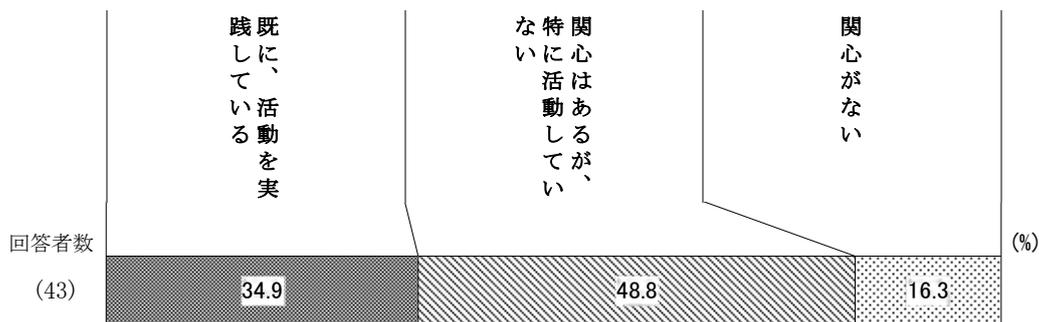


(2) 協働・協創の実践

■ 「関心はあるが、特に活動していない」が5割弱

問40で「1. 知っている」とお答えの方に  
 問40-1 あなたは、ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクトなど、区役所・区民・団体との協力・連携（協働）や自主的な取り組み・活動（協創）を実践していますか（○は1つだけ）。

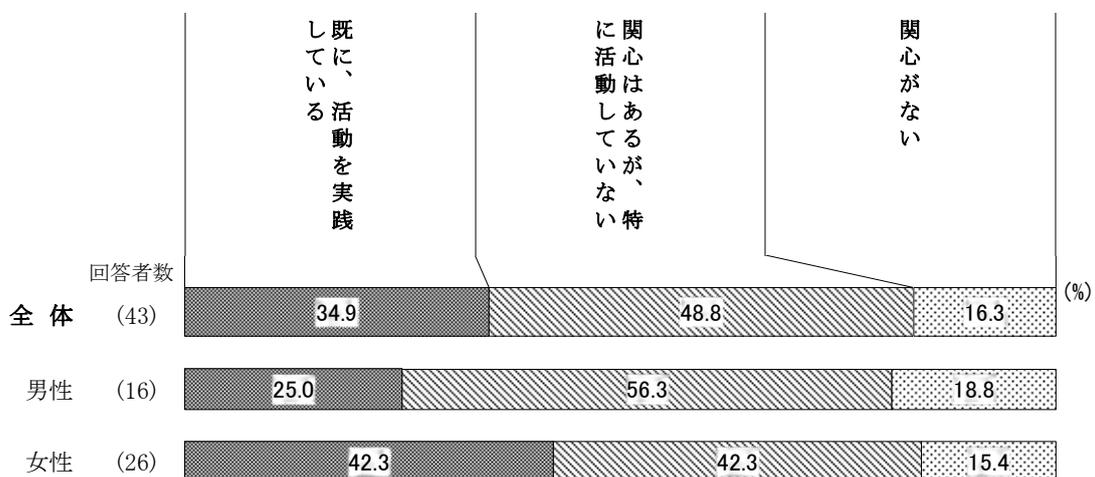
図10-2-1 協働・協創の実践



「協創」を「知っている」という人について、実践状況を見ると、「既に、活動を実践している」が34.9%、「関心はあるが、特に活動していない」が48.8%となっている。一方、「関心がない」は16.3%となっている。

性別で見ると、女性では「既に、活動を実践している」が42.3%と、男性（25.0%）より高くなっている。

図10-2-2 性別／協働・協創の実践

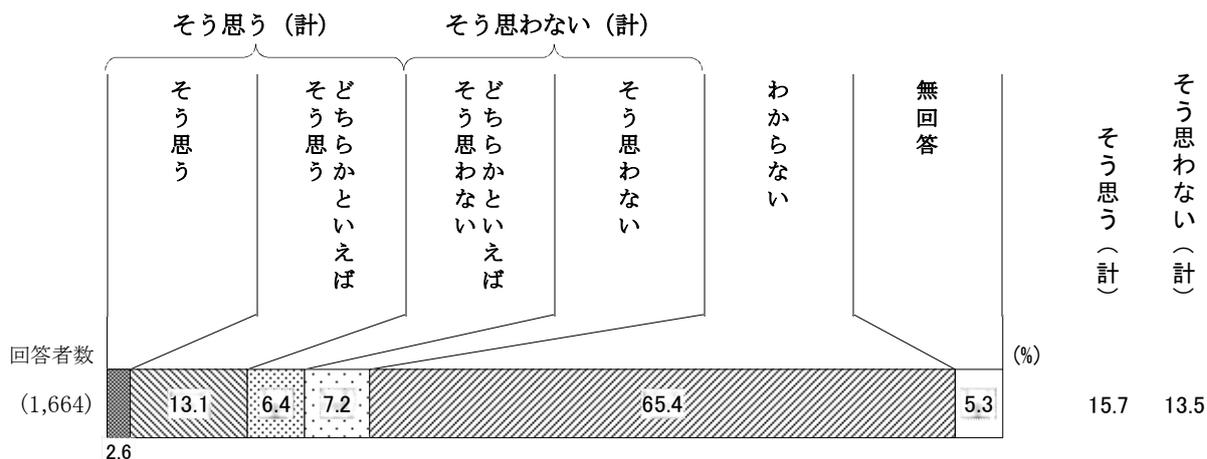


(3) 区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価

■ 【そう思う】と【そう思わない】の差は僅か

問41 あなたは、ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクトなど区役所・区民・団体の協力・連携（協働）や自発的な活動（協創）により事業を進めていると感じていますか（○は1つだけ）。

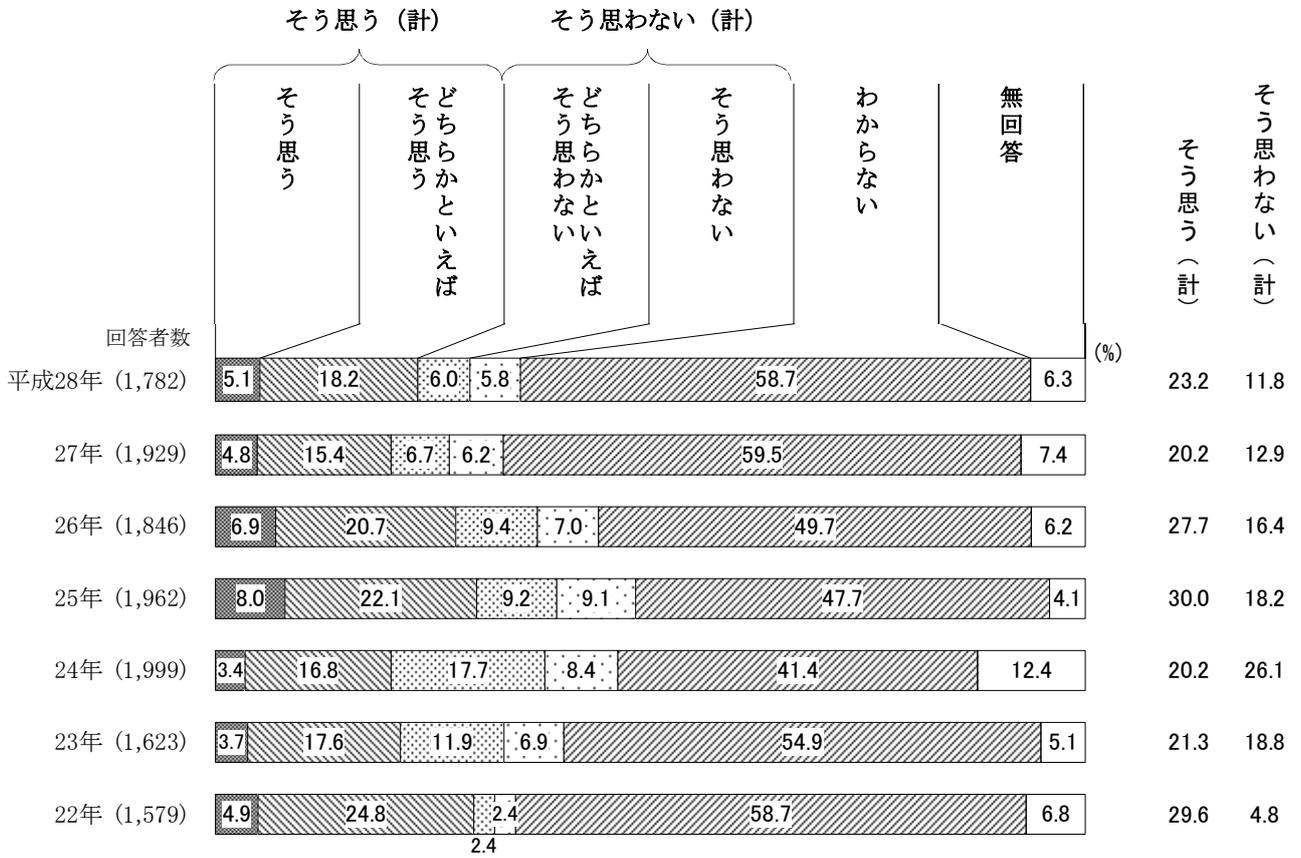
図10-3-1 区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価



協働や協創による事業の推進状況については、「そう思う」が2.6%で、これに「どちらかといえばそう思う」(13.1%)を合わせた【そう思う】は15.7%となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(6.4%)、「そう思わない」(7.2%)を合わせた【そう思わない】は13.5%となっている。また、「わからない」が65.4%を占めている。

参考／区役所・区民・団体との協力・連携（協働）した事業推進の評価

問 あなたは、区役所が孤立ゼロプロジェクトやビューティフル・ウィンドウズ運動など区民・団体と協力・連携（協働）して事業を進めていると感じていますか（○は1つだけ）。



※平成28年までは、「協創」の部分にふれておらず、設問文も違うため、結果を単純に比較することはできない

第3章 調査結果の分析〈協働・協創〉

性別でみると、【そう思う】は男性14.2%、女性17.2%となっている。

性・年代別でみると、男女とも各年代にわたって【そう思う】は低くなっている。また、各年代とも「わからない」が多数を占める傾向は、男女に共通している。

図10-3-2 性別、性・年代別／区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価

